

氏 名	櫻田 泰江
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲第 7118 号
学位授与の日付	2024 年 9 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Clinical characteristics of female long COVID patients with menstrual symptoms: a retrospective study from a Japanese outpatient clinic (女性の新型コロナウイルス感染症罹患後症状にみられる月経関連症状の検討)
論文審査委員	教授 増山 寿 教授 頼藤貴志 准教授 岡田あゆみ

学位論文内容の要旨

COVID-19 罹患後症状の病態は未解明であるが、諸外国からは COVID-19 が女性の月経異常を引き起こすとの報告がある。本研究ではコロナ後遺症外来を訪れる女性患者の月経異常について後方視的観察研究を行った。18～50 歳の女性患者 223 人のうち、月経異常を訴えたのは 44 人 (19.7%) であった。月経異常の内訳は、月経周期の異常 (63.6%)・月経痛の悪化 (25%)・経血量の増加 (20.5%)・更年期症状 (18.2%)・月経前症候群 (15.9%) であった。月経異常のある患者では年齢の中央値が 42.5 歳と高く、倦怠感と抑うつ割合が高く、QOL は低下し、オミクロン変異株の感染が多かった。内分泌学的データでは、月経異常のある群ではコルチゾールが有意に上昇していた。Long COVID は日本人女性の内分泌機能とメンタルヘルスに影響を及ぼしていることが示唆された。

論文審査結果の要旨

新型コロナウイルス感染症罹患後症状の病態は未解明であるが、諸外国からは女性の月経異常を引き起こすとの報告がある。

本研究ではコロナ後遺症外来を訪れる女性患者の月経異常について後方視的観察研究を行った。18～50 歳の女性患者 223 人のうち、月経異常を訴えたのは 44 人 (19.7%) であった。月経異常の内訳は、月経周期の異常 (63.6%)・月経痛の悪化 (25%)・経血量の増加 (20.5%)・更年期症状 (18.2%)・月経前症候群 (15.9%) であった。月経異常のある患者では年齢の中央値が 42.5 歳と高く、倦怠感と抑うつ割合が高く、QOL は低下し、オミクロン変異株の感染が多かった。内分泌学的データでは、月経異常のある群ではコルチゾールが有意に上昇していた。

委員からは、年齢因子による卵巣機能への影響や社会的因子も考える必要があると指摘があった。本研究者は、後遺症外来を受診した患者での限定的な検討であり、さらに検討する範囲、項目を広げる必要があると回答した。

本研究は、コロナ後遺症の日本人女性の内分泌機能とメンタルヘルスへの影響について、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。